

TOWARD THE
100TH
ANNIVERSARY



MEDIUM-TERM PLAN

学校法人 神奈川大学
将来構想実行計画(2018-2028)

中期計画
2024-2028

未来に向けた100年の 歴史の礎を築く

創立100周年を5年後に控え、その道標たる「将来構想」のもと、2018年に策定した「将来構想実行計画」「中長期財政計画」「キャンパス新総合計画」(2018-2028)に基づき、2023年からは化学生命学部と情報学部を新設し11学部となり、教育・研究の環境充実と整備が進行しています。各学部からの新機軸も打ち出される段階に迫り、節目ごとに計画を着実に履行しています。34年の歴史に幕を閉じた湘南ひらつかキャンパスは、売却に向けて具体的な検討に移行しており、現在は本部を置く横浜キャンパス、神奈川大学発祥の地であるみなとみらいキャンパス、附属中・高等学校の中山キャンパスの3拠点を持つ学校法人としてさらに充実させてまいります。

想定されていたよりもはるかに進んだ人口減少や不透明な経済情勢などにより、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増すことが予測される中、2025年4月に私立学校法も改正されます。社会の要請に応え得る実効性のあるガバナンス改革を推進するため、学校法人神奈川大学は、全国有数規模の総合大学と中高一貫校を擁する高等教育機関として、建学の精神に則り「世界へ、そして未来へ」のタグラインのもと、独自性を発揮した様々な改革を進めています。神奈川大学の学生に対する姿勢である「約束します、成長力。- 成長支援第一主義 -」や附属学校の生徒に対する姿勢である「生徒一人ひとりの成長を確かにサポート!」を実現するため、「For the Students」をキーワードに、ステークホルダーとの連携ならびに協力体制を構築し、地域発展の一翼を担うべく貢献すると同時に、多様性を認めつつ時代や社会に合わせた学園を目指してまいります。

YOKOHAMAの地において、 学生を最も成長させる大学へ

神奈川大学は、1928年横浜桜木町において、本学の前身である横浜学院を開設して以来、創立者の米田吉盛先生の言葉である、「教育は人を造るにあり」の教えを胸に、これまで約一世紀の永きにわたり教育重視の伝統を堅持して歩んでまいりました。そして近年には、理学部、工学部のリニューアルを図り、建築学部、化学生命学部、情報学部を新設し理工系5学部を横浜キャンパスに集結し、2021年に新たに開設したみなとみらいキャンパスと併せて、2028年の創立100周年とその先の未来を見据え、YOKOHAMAの地にある総合大学として新たな歩みを始めております。

今回の中期計画においては、持続可能な社会を目指すSDGsへの取り組みを強化しながら、特に教育においては、将来構想を実現していくための教育組織や教育プログラムの充実を図り、学修者本位の教育の充実に向けた教学マネジメントを確立してまいります。また、研究においては、研究シーズを積極的に発信、還元し、企業等との共同研究や国の研究事業等への参画を模索してまいります。さらには、地域・社会とのネットワークを構築し、社会・産学連携などを通じた学修支援を活性化し、研究拠点の提供を推進すること等により、社会に貢献できる人材を育成すると共に、特に地域社会の発展へ貢献できる人材育成を目指してまいります。

神奈川大学は総合大学としての強みを活かし、YOKOHAMAにその叡智を結集することで、YOKOHAMAの地において学生を最も成長させる大学を目指します。さらに、本学の建学の精神である「質実剛健・積極進取・中正堅実」を、「地に足をつけた実直さ・堅実さを土台にして、明日を積極的に拓(ひら)く」と捉え直し、そのような有為な人材育成に努めてまいります。神奈川大学の動向に今後ともご期待ください。



学校法人 神奈川大学

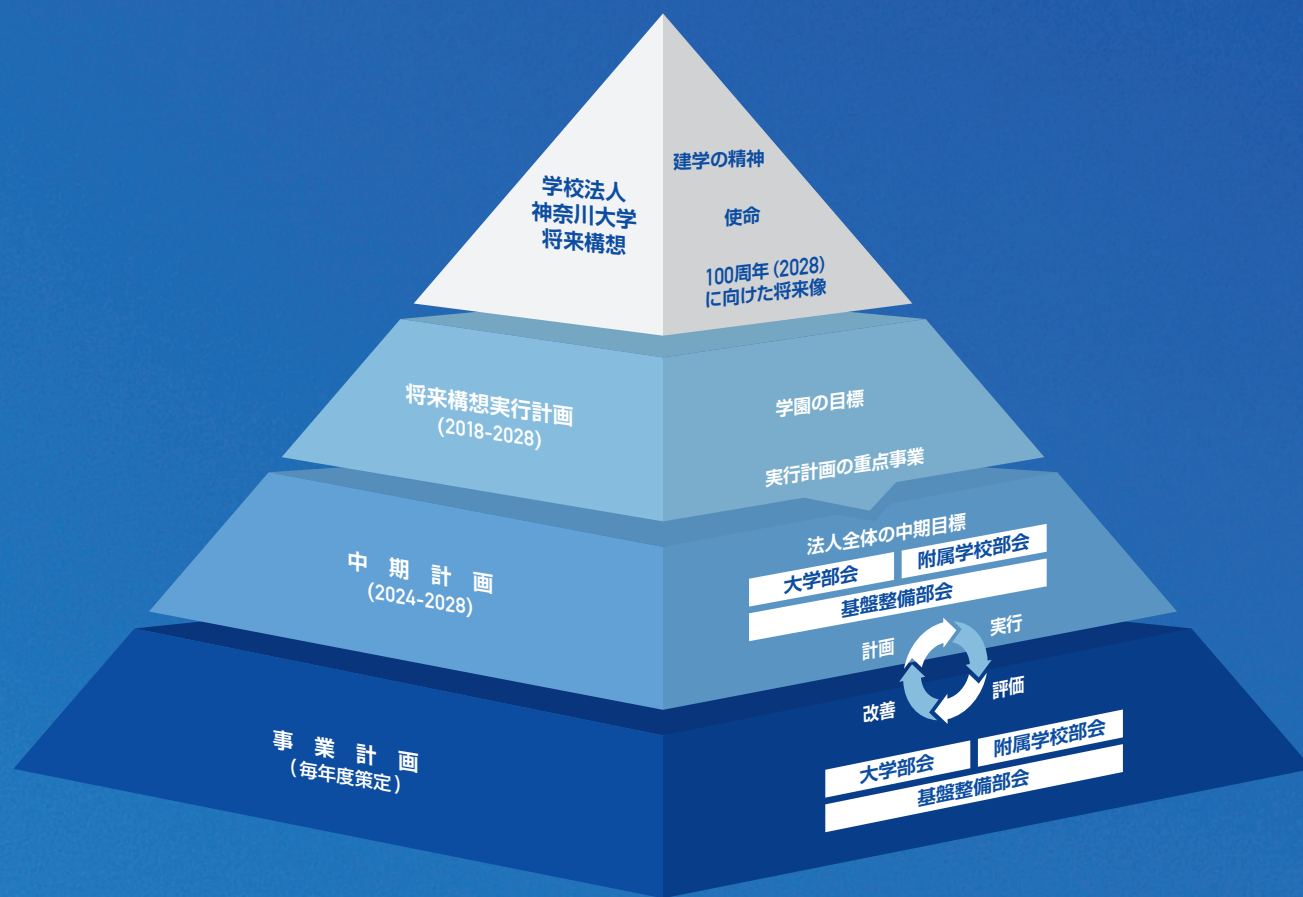
理事長 石渡 卓



神奈川大学

学長 戸田 龍介





学園の理念

建学の精神「質実剛健・積極進取・中正堅実」

本学園は、1928年米田吉盛によって創立され、「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」の建学の精神のもと、今日まで多くの有為な人材を実業界をはじめ各界に送り出し、社会の発展と安定に寄与してきました。建学の精神である「質実剛健」とは、伝統・古典を尊重し、良識を重んじ、正義を貫くという価値観を意味し、「積極進取」とは、困難なことに対して積極的に挑戦し、進歩・進化を求めていくという価値観を意味します。そして「中正堅実」とは、これら二つの価値観を深く自覚し、自律の精神と共生の視点から「探究・調和・融合」することにより、真理・本質を見極め、自主的主体性を持って新たな価値を創造していくことを意味します。

使 命【ミッション】

私たちは、建学の精神のもと、時代と社会の課題や使命を地球的視野から深く自覚するとともに、真理を希求する姿勢を持ち続け、自律の精神と共生の視点から主体的に新たな価値を創造する人材を育成し、未来社会の発展と安定に寄与します。

100周年に向けた将来像【ビジョン】

海により開かれ、世界との接点となった横浜に生まれた本学園は、多様な価値観の共存する時代に、人の交流と文化の融和、知識と実践の循環、教育と研究の融合による21世紀における「真の実学」を実現し、地域社会そして地球規模の課題を解決する、世界を惹きつけ、世界に発信する学園を目指します。

学園の目標

「競争力を強化し、社会的ポジショニングを高め、魅力ある学園を構築する。」

1. 教育組織総合計画、教員組織総合計画、キャンパス総合計画を推進し、魅力ある学園を構築する。
2. グローバル社会の中核を担う、主体性を持ち新たな価値を創造する「中正堅実」な人材を育成する。
3. 幅広い教養、専門的な知識のもと、人間形成を行う「真の実学」により教育の質を高め、学生・生徒の成長を支援する。
4. 社会の諸課題の解決に取り組む専門的な研究を推進する。
5. ガバナンス及びマネジメントを改革し、経営基盤を強化する。



JINDAI NEXT STAGE

～ 創立100周年へ続く5年間で動き出す～

創立100周年に向けた将来構想実行計画（2018-2028）に基づき、2024年から5カ年の中期計画を策定しました。

創立者米田吉盛の教育理念である「教育は人を造るにあり」のもと、学生、生徒の成長を支援するため、研究に裏付けられた教育の質のより一層の向上に取り組みます。

実行計画の重点事業

- 未来を創造する人材を育成する教育の進化
- キャンパス新総合計画の推進
- Society 5.0を見据えたダイバーシティの推進
- 将来構想を推進するための財政基盤の強化



大学 約束します、成長力。ー成長支援第一主義ー

実行計画

「知の拠点」に相応しい

社会の変化を見据えた教育組織の構築 時代の変化に対応する教育研究環境の向上

を最重点項目とし、認証評価の結果を踏まえて、中期計画を編成します。
そのために、教学マネジメントを確立し、国際化とダイバーシティの推進、SDGsへの取組みの強化を基軸に据え、以下の1から3に掲げる教育研究体制の整備をすすめます。

- 1 教育の質の向上と多様な教育の展開
- 2 特色ある研究と社会連携の推進
- 3 学生支援、国際交流とキャリア形成の強化



2024-2028年の中期計画

- 1 教育プログラムの充実
 - 英語による新たな横断的教育プログラムの運用開始
- 2 学修者本位の教育の充実に向けた教学マネジメントの確立
 - 学修成果・教育成果の把握と可視化
- 3 SDGsの達成と地域との共生を目指す研究拠点の形成
 - カーボンニュートラル研究プロジェクトによる重点支援事業の推進
- 4 社会連携・社会貢献の拡充
 - 地域社会と接続した学びの場の構築
- 5 国際交流の推進
 - 国際協働教育 (COIL プログラム) の推進



附属学校 生徒一人ひとりの成長を確かにサポート！

実行計画

常に学び続け、社会的に評価される教育の実践 地域で一番の中高一貫共学校

- 1 「主体的に考え、判断し、行動できる人」を育成する。
- 2 21世紀の知識基盤社会、グローバル社会の中で進学校として、確かな学力を基本に「社会的に評価される進学実績」を維持する。
- 3 多様な学習活動を通じて、「創造性と豊かな人間性」を涵養する。



2024-2028年の中期計画

- 1 教育支援の強化
 - スーパーサイエンスハイスクール (SSH) への申請とSTEAM教育、ICT教育の強化
 - 安心して学べるキャンパス整備・安全管理、危機管理体制の向上
- 2 生徒への支援・指導の充実
 - 学校完結型の学習指導体制 (授業・補習講習・放課後自習室) の確立



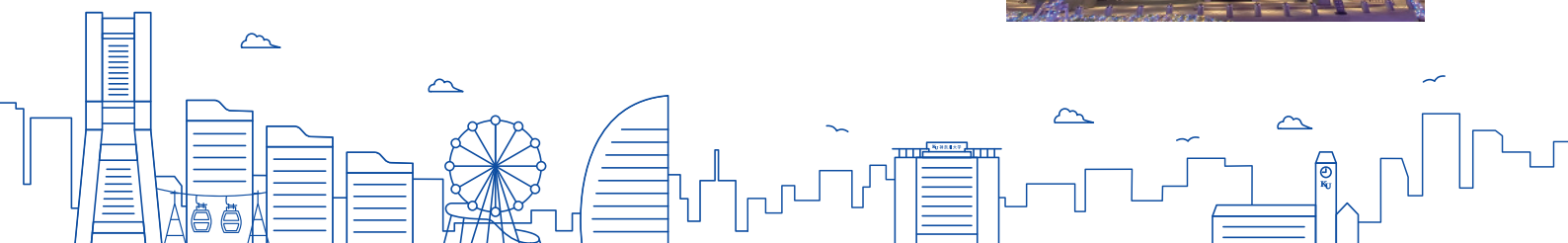
基盤整備 For the Students の実現に向けて

実行計画

キャンパス新総合計画の推進 中長期財政計画 (2018-2028) の推進

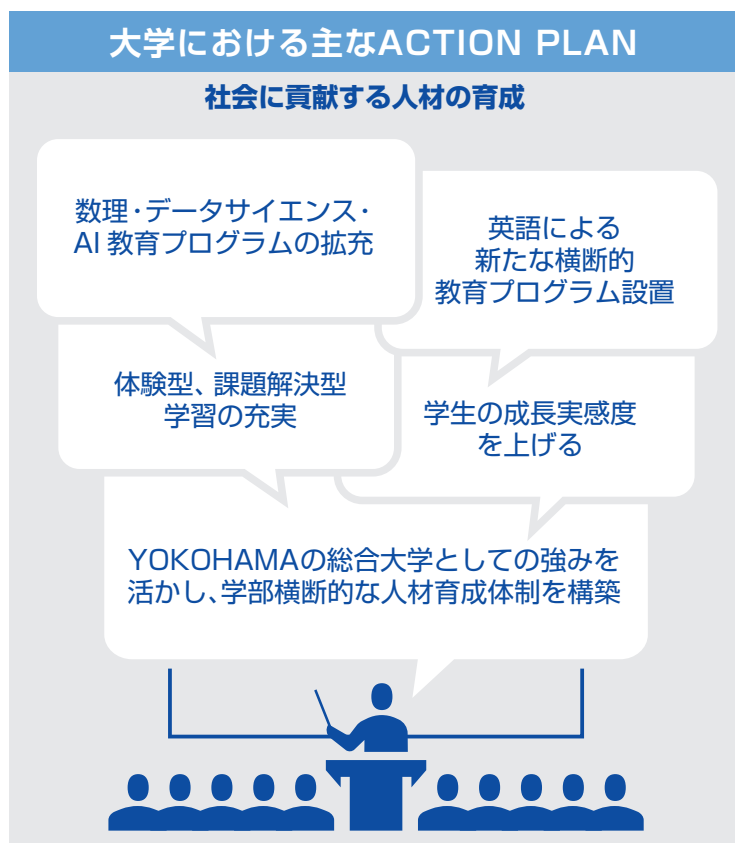
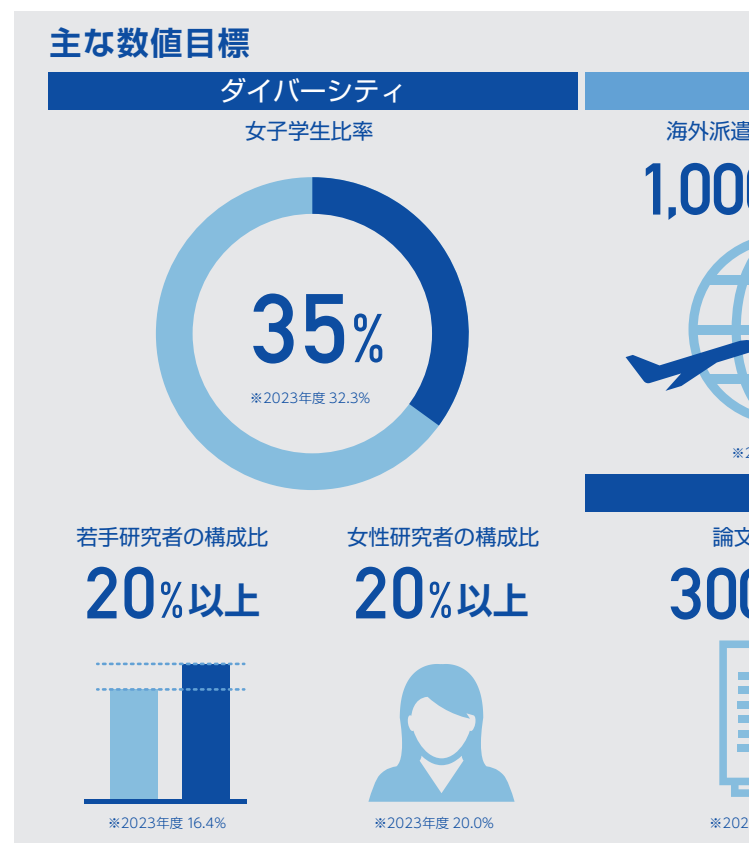
2024-2028年の中期計画

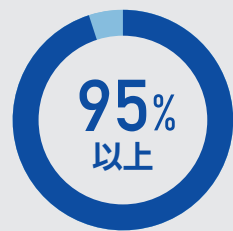
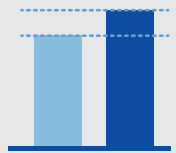
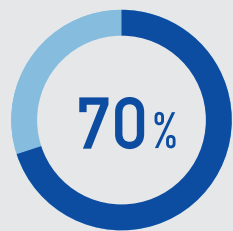
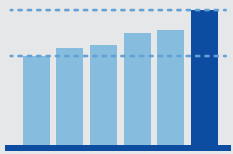
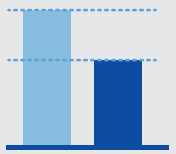
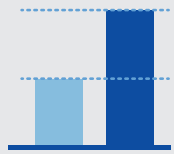
- 1 法人の運営
 - ガバナンス体制の確立
 - ダイバーシティの推進
 - BCP 策定とBCMの構築
(注) BCP: 事業継続計画、BCM: 事業継続マネジメント
- 2 教育研究環境の整備
 - キャンパス新総合計画の推進
 - カーボンニュートラルに向けた施策の推進
- 3 大学・附属学校の運営
 - 事務組織改革の継続と人事評価制度の策定および導入
 - 業務フローの見直しによる業務改革の推進
- 4 安定的な財政基盤の確立
 - 中長期財政計画の推進
 - 校友との連携強化と学園ブランディングの推進

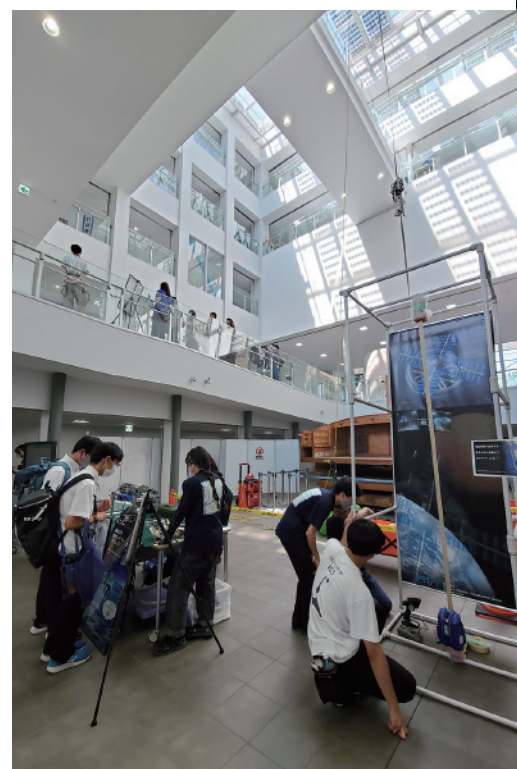


中期計画	
大 学	教育プログラムの充実
	学修者本位の教育の充実に向けた 教学マネジメントの確立
	SDGsの達成と 地域との共生を目指す研究拠点の形成
	社会連携・社会貢献の拡充
	国際交流の推進
附属学校	教育支援の強化
	生徒への支援・指導の充実
基盤整備	法人の運営
	教育研究環境の整備
	大学・附属学校の運営
	安定的な財政基盤の確立

2024	2025
「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の拡充	
英語による新たな横断的教育プログラムの検討	
学修成果・教育成果の把握と可視化 ○可視化システムの導入と検証 ○可視化情報の公開と教育改善に向けた活用	
組織的・実質的なFD・SDおよび教学IR 活動 ○新たな入学前教育・リメディアル教育の運用・導入 ○教学IR情報の政策的活用	
分野横断型研究事業等によるカーボンニュートラル研究プロジェクト支援	
地域・周辺大学との拠点形成支援事業への参画	
社会に貢献できる人材の育成と地域社会の発展への貢献 ○地域社会と接続した学びの場の構築 ○地域社会のニーズにあったエクステンション	
派遣・受入れ留学生の拡充及び体制の充実 ○協定校との交流の見直し、実働率向上 ○語学力向上の支援体制整備 ○新たな	
スーパーサイエンスハイスクールへの申請とSTEAM 教育、ICT 教育の強化	
探究学習を中心とした主体的な深い学びの展開	
進路指導体制の充実	
ガバナンス体制の確立 ○私立学校法改正の趣旨を踏まえた本法人に最適なガバナンス体制の確立 ○ダイ	
キャンパス新総合計画の推進	
2050年のカーボンニュートラルに向けた施策（創エネ・脱炭エネ等）の推進	
事務組織改革の継続と人事評価制度の策定	
業務フローの見直しによる業務改革の推進（DX化およびペーパーレス化等の推進）	
中長期財政計画の推進と100周年以降の財政基盤強化	
校友との連携強化と学園ブランディングの推進	



国際		就職		校 友	
留学生数を年間延べ 0名に拡大	進路・就職先 卒業時の満足度	卒業生の 他者推奨度向上	後援会SNS登録者数	保護者ポータルサイト (2024年度より運用開始) の保護者利用率	
					
2023年度 411名	※2023年3月卒業生の満足度 90%	※2021年3月期 11.2% (0～10点の11段階で評価し、9点以上の割合)	※2023年度 2931名		
研 究		DX・カーボンニュートラル		ブランディング	
論文数を年間 0本以上	外部資金の獲得額	複写機出力枚数	寄付金比率		
					
2023年度 206本	※2022年度外部資金獲得額 558,327円	※2022年度 800万枚	※2022年寄付金比率 1.1%		



KU 世界へ、そして未来へ 学校法人神奈川大学



横浜キャンパス

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL:045-481-5661(代)

大学院 ■ 法学研究科 ■ 経済学研究科 ■ 人間科学研究科 ■ 理学研究科

■ 工学研究科 ■ 歴史民俗資料科学研究科

大 学 ■ 法学部 ■ 経済学部 ■ 人間科学部 ■ 理学部 ■ 工学部 ■ 建築学部

■ 化学生命学部 ■ 情報学部

中山キャンパス

〒226-0014 横浜市緑区台村町800 TEL:045-934-6211(代)

神奈川大学附属中・高等学校

湘南ひらつかキャンパス

〒259-1293 平塚市土屋 2946

みなとみらいキャンパス

〒220-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3 TEL:045-664-3710(代)

大学院 ■ 経営学研究科 ■ 人文科学研究科

大 学 ■ 経営学部 ■ 外国語学部 ■ 国際日本学部